



平成25年6月定例会

大館市議会会議録（第3号）

自 平成25年6月4日 開会
至 平成25年6月20日 閉会

大 館 市 議 会

6月4日（火曜日）

第1日目

平成25年6月4日（火曜日）

議事日程第1号

平成25年6月4日（火曜日）

○表彰状伝達（全国市議会議長会）

開 会 午前10時

議長報告（文書）

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 議案等の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案等の上程

1. 報 第 3 号 平成24年度大館市一般会計継続費繰越計算書
2. 報 第 4 号 平成24年度大館市一般会計繰越明許費繰越計算書
3. 報 第 5 号 平成24年度大館市一般会計事故繰越し繰越計算書
4. 報 第 6 号 平成24年度大館市都市計画事業特別会計繰越明許費繰越計算書
5. 報 第 7 号 平成24年度大館市水道事業会計予算繰越計算書
6. 報 第 8 号 平成24年度大館市下水道事業会計予算繰越計算書
7. 報 第 9 号 大館市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について
8. 報 第 10 号 一般財団法人大館市文教振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について
9. 報 第 11 号 株式会社県北環境保全センターの経営状況を説明する書類の提出について
10. 報 第 12 号 株式会社田代ふるさと振興公社の経営状況を説明する書類の提出について
11. 報 第 13 号 放棄した債権の報告について
12. 議案第 71 号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条

例案

13. 議案第 72 号 国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案
14. 議案第 73 号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案
15. 議案第 74 号 大館市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
16. 議案第 75 号 大館市児童発達支援センターに関する条例案
17. 議案第 76 号 教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例案
18. 議案第 77 号 大館市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
19. 議案第 78 号 大館市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案
20. 議案第 79 号 財産の取得について（情報系パソコン）
21. 議案第 80 号 旧慣使用権の廃止について（根下戸町地内）
22. 議案第 81 号 市営新町住宅他建替え事業の特定事業契約の締結について
23. 議案第 82 号 平成25年度大館市一般会計補正予算（第2号）案
24. 議案第 83 号 平成25年度大館市介護保険特別会計補正予算（第1号）案
25. 議案第 84 号 平成25年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第1号）案
26. 議案第 85 号 平成25年度大館市財産区特別会計補正予算（第1号）案
27. 議案第 86 号 平成25年度大館市水道事業会計補正予算（第1号）案
28. 議案第 87 号 平成25年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第1号）案
29. 議案第 88 号 平成25年度大館市下水道事業会計補正予算（第1号）案
30. 議案第 89 号 平成25年度大館市病院事業会計補正予算（第1号）案

出席議員（27名）

1 番	小 棚 木 政 之 君	2 番	武 田 晋 君
3 番	佐 藤 照 雄 君	4 番	小 畑 淳 君
5 番	花 岡 有 一 君	6 番	中 村 弘 美 君
7 番	畠 沢 一 郎 君	8 番	伊 藤 毅 君
9 番	藤 原 明 君	10 番	千 葉 倉 男 君
11 番	佐 藤 久 勝 君	12 番	仲 沢 誠 也 君
13 番	虻 川 久 崇 君	14 番	石 田 雅 男 君
15 番	藤 原 美 佐 保 君	16 番	芥 藤 則 幸 君
18 番	佐 藤 芳 忠 君	19 番	吉 原 正 君

20番	佐々木 公 司 君	21番	佐 藤 健 一 君
22番	田 中 耕太郎 君	23番	富 樫 孝 君
24番	田 村 齊 君	25番	菅 大 輔 君
26番	笹 島 愛 子 君	27番	相 馬 エミ子 君
28番	高 橋 松 治 君		

欠席議員（1名）

17番 明 石 宏 康 君

説明のため出席した者

市 長	小 畑 元 君
副 市 長	吉 田 光 明 君
総 務 部 長	大 友 隆 彦 君
総 務 課 長	名 村 伸 一 君
総 務 課 長 補 佐	虻 川 正 裕 君
財 政 課 長	北 林 武 彦 君
市 民 部 長	田 畑 政 光 君
福 祉 部 長	佐 藤 孝 弘 君
産 業 部 長	飯 泉 信 夫 君
建 設 部 長	佐 藤 雄 幸 君
会 計 管 理 者	芳 賀 利 彦 君
病 院 事 業 管 理 者	佐々木 睦 男 君
市立総合病院事務局長	虻 川 信 幸 君
消 防 長	渡 部 明 君
教 育 長	高 橋 善 之 君
教 育 次 長	石 井 隆 君
選挙管理委員会事務局長	戸 田 恒 夫 君
農業委員会事務局長	若 松 俊 一 君
監 査 委 員 事 務 局 長	小 林 浩 君

事務局職員出席者

事 務 局 長	阿 部 徹 君
次 長	笹 谷 能 正 君
係 長	畠 沢 昌 人 君

主
主
主

查 佐 藤 肇 君
查 長 崎 淳 君
查 大 里 克 史 君

午前10時06分 開 会

- 議長（中村弘美君） これより、平成25年6月大館市議会定例会を開会いたします。
- 出席議員は定足数に達しております。
- よって、直ちに本日の会議を開きます。
- 本日の議事は、日程第1号をもって進めます。
- 諸般の報告は、お手元に配付しております文書により御了承願います。

日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（中村弘美君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
- 本定例会の会議録署名議員は、7番 畠沢一郎君、8番 伊藤毅君、9番 藤原明君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

- 議長（中村弘美君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
- お諮りいたします。
- 本定例会の会期は、本日から6月20日までの17日間と定めたいと思います。
- これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（中村弘美君） 御異議なしと認めます。
- よって、会期は本日から17日間と決定いたしました。
- なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております日程表のとおりでありますから、さよう御了承願います。

日程第3 議案等の上程

- 議長（中村弘美君） 日程第3、議案等の上程を行います。
- 報第3号から同第13号まで、及び議案第71号から同第89号までの以上30件を一括上程いたします。
- 提出者の説明を求めます。

〔市長 小畑 元君 登壇〕

- 市長（小畑 元君） 6月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、3月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

1、雪害による人的被害状況等について。

この冬も昨年同様の大雪と低温に見舞われたことから、市では、雪の処理に関する市民の皆

様からの相談や問い合わせに対応するとともに、広報やホームページ、報道機関を通じて雪害に対する注意喚起を行ってまいりました。また、2月22日には災害警戒対策室を設置し雪害防止に向け、継続的な安全対策に努めてきたところでありますが、本市における雪害状況は、人的被害として雪おろし中の転落等による死者が3人、負傷者18人、建物関係では住宅等の損壊が25件、農業関係ではパイプハウス等の倒壊15棟となっており、大変な状況と受けとめております。来シーズンにつきましても、緊急メールやツイッター等による事故防止の呼びかけや本年年明けから消防本部で実施してきた「雪下ろし講習会」を実施するとともに、消防団や自主防災組織の御協力もいただきながら、雪による事故防止を徹底してまいりたいと考えております。なお、北海道・山形県及び新潟県において災害救助法が適用されたことにより、今冬の雪害で亡くなられた方の遺族に対して支給される災害弔慰金の対象が全都道府県となっております。本定例会に係る予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

2、地域防災計画見直しへの着手と防災アドバイザーの採用について。

秋田県では、東日本大震災を契機に県地域防災計画を見直し中であり、本年度末に新計画が策定される予定であります。新計画では、災害後方支援を含む広域防災拠点を県内数カ所に設けることとしており、本市においては大館樹海ドーム等が候補に挙げられております。そのため市では、本年度から地域防災計画の見直しに着手し、県の防災計画との整合性を図りながら平成26年度の策定を目指しております。また、実効性のある防災計画の策定や防災体制の一層の充実を目指す観点から、災害後方支援の対応経験と防災や危機管理に対する知見を有する者が必要と考え、6月1日から防災アドバイザーとしての役割を担う嘱託職員を採用いたしました。この職員は自衛隊退職者であり、本市の防災行政の推進に資するものと考えております。防災計画の見直しにつきましては進捗状況を随時議会に御報告申し上げますので、よろしく御理解をお願い申し上げます。

3、平成24年度の決算見込みについて。

主な会計について御報告申し上げます。まず一般会計の決算状況は、歳入総額355億6,000万円、歳出総額337億9,000万円と歳入歳出差引額は17億7,000万円と見込んでおります。平成25年度への繰り越し財源を差し引いた実質収支額は、16億9,000万円と23年度決算と比べ1億2,000万円ほどの増となる見込みであります。今後も財政基盤の強化を図るためさらなる行財政改革を推進してまいります。主な事業成果としては、小柄沢墓園造成事業、比内地鶏糞処理施設建築工事、中山取水場及び山館浄水場自家発電機設置工事が完了したほか、社会資本整備総合交付金事業による道路改良工事や御成町南地区土地区画整理事業、小・中学校耐震対策事業などを計画的に実施しております。次に、各企業会計の収益的収支の決算状況につきましては、水道事業会計で1億1,900万円、工業用水道事業会計では380万円の単年度純利益を見込んでおります。下水道事業会計では、1億4,400万円の単年度純損失の見込みであります。現金支出を伴わない減価償却費などを除きますと、資金ベースでは黒字となる見込みでありま

す。病院事業会計については、総合病院では1億8,100万円の単年度純損失の見込みであります。これは、DPC導入に伴う診療単価の増などで医業収益が前年度より1億5,500万円の増収となったものの、診療報酬改定に合わせた各種施設基準取得のための医療スタッフの増員等に伴い、医業費用が5,400万円増加したことなどによるものであり、単年度損失額は前年度より6,800万円の減となる見込みであります。また、扇田病院では外来患者数の減少等により、900万円の単年度純損失を見込んでおります。なお、現金支出を伴わない減価償却費などを除いた資金ベースでは、両病院合わせて5億5,200万円の黒字となっており、管理者を中心としたこれまでの経営改革の成果があらわれてきたものと考えております。今後、DPCにより得られる医療情報を活用し医療の質の向上による収益確保を目指すとともに、材料費の価格削減交渉などによる徹底したコスト削減に努め、さらなる病院経営基盤の強化を図ってまいります。

4、公共事業の発注計画等について。

平成25年度当初予算にかかわる事業について、発注状況と今後の発注計画を御報告いたします。総務費では3R推進プラザ整備事業の旧ごみ焼却施設の解体工事が発注済みであり、雪沢・長走地区での光ブロードバンド整備事業、衛生費で田代墓地公園改修事業、農林水産業費で釈迦内工業団地整備事業などが発注予定であります。また、3月定例会で御承認いただいた繰り越し事業については、長根山陸上競技場の改修事業が発注済みであり、公共施設再生可能エネルギー等導入事業や城南小学校体育館、早口・山瀬小学校校舎、東中学校体育館、南中学校校舎の耐震補強工事、第二中学校グラウンド改修工事などを順次執行する予定であります。企業会計では、水道事業で田代地区統合簡易水道事業、東台地内ほかの老朽管更新事業、公共下水道事業では観音堂地区ほかの下水道管布設工事、病院事業では総合病院の医療機器整備事業などが今後発注予定であります。これらにより、公共投資額は当初予算ベースで70億円となりますが、6月補正で下川沿公民館改築事業や樹海ドーム駐車場整備工事、交流センター改修工事、さらには認定リサイクル製品地域集中型モデル事業などにより、総額71億円となる見込みであります。公共事業投資は地域経済に与える影響が大きいことから、3月に設定した予算執行方針の中で9月末までの発注目標を85%以上と定めており、その達成に向け全力で取り組んでまいります。

5、大館市空き公共施設等利活用促進条例に基づく事業者の指定状況について。

空き公共施設の利活用については、条例適用第1号施設として旧白沢通園センターを本年2月26日から3月7日まで公募したところ、食品加工卸売の株式会社東北センバから応募があり審査を経て事業者指定いたしました。同社では、4月からこの施設を利用し冷凍とろろ芋の原料となる長芋などの皮むき業務を開始しており、地元矢立地区から正社員1人、作業従事者21人を雇用するなど、地区の雇用の拡大に寄与していただいております。また、旧葛原保育所を5月13日から22日まで公募したところ、秋田比内や株式会社から応募があり審査を経て事業者指定いたしました。同社では業務拡張に伴い、現在、鹿角市にある従業員41人の本社及び

工場を移転し新たに2人を雇用するもので、事業開始は増改築工事後の12月10日ごろとし、直営店や姉妹店向けに比内地鶏の加工や地場産食材を活用した新商品の開発・製造を行う予定とかがっております。今後も地域の活性化や雇用の拡大に向け空き公共施設の利活用を積極的に進めてまいりますので、よろしく御理解をお願い申し上げます。

6、環境マネジメントシステムの取り組み状況について。

大館市環境マネジメントシステムにつきまして、平成24年度の主な結果を御報告いたします。自然と調和した潤いのある街づくりの推進では、クリーンアップ活動や不法投棄物のパトロール、大館市エコフェア等の事業を通じて、環境意識の浸透・高揚が図られ、全17項目で目標を達成することができました。特に、国の電力需給対策に対応した節電対策につきましては、本庁舎における電力使用量が22年度対比で、24.7%の大幅な削減となっております。次に、省資源、省エネ、リサイクルの推進では、木質ペレットの使用などにより17年度対比で、約356トンの二酸化炭素の排出抑制と約1,600万円の経費節減がなされております。このほか、堆肥製造事業や廃食用油回収事業、小・中学校におけるペットボトルキャップリサイクル事業についても、順調に目標を達成しております。また、新たに市内4カ所の公共施設に太陽光発電設備を導入し再生可能エネルギーの普及・啓蒙が期待されるなど、今後も環境マネジメントシステムを活用してさらなる環境負荷の低減に努め、環境先端都市の実現に向けて取り組んでまいります。

7、地域医療推進学講座の開設について。

本市は、これまでも総合病院へ多数の医師の派遣を受けるなど、弘前大学との協力関係を築いてまいりましたが、地域医療の研究を目的とする地域医療推進学講座を大学内に開設していただくため、弘前大学に対し本年度からの5年間で総額1億4,000万円の寄附を行う予定であります。寄附額は、本年度が2,000万円、来年度から平成29年度までは3,000万円で、寄附に当たっては秋田県が3分の2、市が3分の1を負担することとなっております。講座の内容としましては大館北秋田地域の医療連携や、がんの研究と予防・啓発などを予定しており、10月からの開設となる見込みであります。これにより、弘前大学と大館市の結びつきが県の御支援のもと一層強固なものとなり、今後の地域医療の充実と市民の健康増進に大きな効果があるものと期待しております。本定例会に関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

8、農作物の生育状況等について。

ことは、雪解けのおくれと4月中旬以降の低温により、農作業は平年より5日ほどおくれましたが、5月中旬に天候が回復したことから3日程度のおくれとなりました。基幹作物である水稻は、平年より4日程度おくれて播種作業が始まり4月20日が盛期となりました。4月中旬以降気温が低く日照時間が少なかったことから、出芽に不揃いが見られ生育も平年に比べおくれております。また、5月に入り降雨が続き圃場が乾きにくかったことから、耕起作業・田

植作業とも平年より3日程度のおくれとなりました。野菜につきましては、山の芋は平年より3日程度おくれで5月10日ごろから定植作業が始まりましたが、平年どおり6月上旬までに終了する見込みであります。また、アスパラガスは低温の影響から平年より5日程度おくれ、5月12日から収穫が始まっておりますが、6月上旬までには終了する見込みであります。果樹は、梨・リンゴとも発芽期はほぼ平年並みでしたが、その後の低温の影響から梨は5月15日、リンゴは5月20日から開花が始まり8日から9日程度のおくれとなりました。今後、気象変動に対応した農作物の管理を徹底するよう注意喚起してまいります。

9、**釈迦内工業団地整備事業について。**

釈迦内工業団地整備事業については、本年度約5ヘクタールの造成と市道改良に向け設計図書の作成、関係機関との協議を進めているところであります。造成については開発行為の事前協議終了後、6月に発注し年内の完成を予定しており、また、市道改良については道路交差点協議と用地買収を行い、年度内の完成を予定しております。本定例会に係る予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。なお、企業誘致につきましては進出予定企業の木材流通センターとチップ工場の県補助事業採択に向けて支援を行い、来年度上半期の工場建設を目指しております。

10、**大館市クマ出没警戒対策室の設置について。**

去る4月5日、市内で熊による人身被害が発生したことから、厳重な警戒が必要として同日大館市クマ出没警戒対策室を設置いたしました。対策室では、緊急メール・ホームページ・ツイッター等により市民への迅速な注意喚起、出没情報の周知を図ったほか、大館市猟友会による現場周辺の巡回を行いました。捕獲には至りませんでした。今後、山菜とりや行楽など野外で活動する機会がふえ熊との遭遇が予想されることから、11月の猟期開始まで対策室を常設し引き続き関係機関との連携を密にして警戒に当たることとしております。なお、5月20日以降、市街地で猿が複数回目撃されていることから、被害防止のための注意喚起と情報提供に努めてまいります。

11、**エコ・アクション・ポイント事業の取り組み状況について。**

市では、平成24年6月から25年3月まで大館市エコ・アクション・ポイント事業を実施し、市民のエコ・アクション活動を支援いたしました。この事業は、取扱店での地場産の農産物や温室効果ガス排出削減に貢献する商品の購入などに対しポイントを交付し、それを商品券などに交換できるものであります。また、事業の運用に当たっては市有林の育成活動により得られた二酸化炭素吸収量のオフセット・クレジット制度での売却益の一部を財源としております。昨年度は、2,131枚のポイントシートが回収でき、6万5,718 kilogramsの二酸化炭素削減効果を実証され、参加いただいた市民には105万円相当を還元いたしました。本年度は、さらに多くの皆様に参加していただけるよう取扱店や対象メニューを拡大し、7月1日から事業を開始したいと考えておりますので、御理解・御協力をお願いいたします。

12、地域経済・雇用対策について。

この春の新卒者の就職状況につきましては、市内高校・秋田職業能力開発短期大学校・秋田看護福祉大学の就職率がいずれも100%と、厳しい雇用情勢の中、2年連続で全ての新卒者が就職できたところであり、改めて関係各位の御尽力に深く感謝申し上げます。本年4月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は、0.70倍と昨年同期との比較では0.01ポイント増加し改善しておりますが、景気の動向は依然不透明であり引き続き雇用対策が求められております。緊急雇用創出臨時対策基金事業による本年度の雇用状況につきましては、24事業で94人の雇用を見込んでおり、5月31日現在、新規雇用者56人を含め79人を雇用しております。残る15人につきましては引き続きハローワークを通じて募集しており、応募があり次第、順次採用することとしております。また、国の起業支援型地域雇用創造事業を活用し、高齢者を支援するポータルサイト構築事業など6事業により20人の雇用を見込んでおります。一方、市が利子補給等を行っている制度融資の平成24年度実績については、マル経が貸し付け件数65件で融資額3億250万円、マル大ほか89件で3億4,680万円、合計154件6億4,930万円となっており、市内事業所の経営基盤の安定に一定の効果があつたものと考えております。また、本年度も引き続き商工会議所が実施するプレミアム商品券発行事業に対する補助を行い、地域経済の活性化を図りたいと考えております。本定例会に関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

13、大館市工場等設置促進条例に基づく指定工場等の現況について。

条例に基づく指定工場は本年4月1日現在で66事業所、従業員数は4,478人となり、昨年同期比で7人増、前回調査の昨年10月比では63人増となっております。厳しい経済状況が続く中、多くの地域雇用をいただいておりますことに対し心から感謝申し上げます。県営大館第二工業団地では、福山通運グループ東北王子運送が4月1日付で本操業を開始し指定工場となったほか、ニプロファーマも4月からバイオ製剤棟・抗がん剤棟・物流棟の仮操業を開始し、さらに現在、試作試験棟を建設中であり、また、グリーンパッケージも新工場の建設に着手する予定であります。一方、羽貫谷地工業団地ではトヨタL&F秋田が4月18日付で操業を開始したところであります。今後も新たな民間投資と雇用の創出が図られるよう鋭意取り組んでまいりますので、御理解・御協力をお願い申し上げます。

14、秋田デスティネーションキャンペーンへの取り組みについて。

本年10月から12月までの期間、JR6社との協同で秋田デスティネーションキャンペーンが開催されます。市では、これを全国のマーケットに本市を売り込み本市の観光を大きく飛躍させるチャンスと捉え、オール大館を合言葉にさまざまなイベントで観光客をお迎えすべく準備を進めております。本市の顔である大館駅前では地元振興会を中心としたオープニングイベントを実施し、市内観光バスの運行、秋田犬とのふれあいコーナーの設置を行うほか、シャイニングストリートを延長して観光客のお出迎えをいたします。また、昨年初めてのドーム開催に

より2日間で8万6,000人を動員した本場大館きりたんぼまつりは、10月12日から3日間の開催とし駐車場不足など昨年の課題を踏まえて10万人動員を目指します。NPO法人大館・小坂鉄道レールバイクのレールバイク事業につきましても順調に実績を上げてきており、本市観光の目玉として今後とも支援してまいります。本定例会に、これらDC開催の関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

15、大館能代空港の現況について。

大館能代空港の平成24年度の搭乗者数は、23年度を2,918人下回り10万3,704人となっております。これは、東日本大震災による交通機関の乱れから首都圏との交通手段として空路が利用されたことで、23年度に前年比1万2,385人の増となったものが、事態がおさまるにつれて徐々に減少した結果と分析しております。しかしながら、本年1月から3月までの冬季の利用人員を見ると前年比2.3%458人の増となっており、空港利用促進対策事業として実施してきた1,000円レンタカー事業や運賃負担軽減事業などの効果により減少幅が最小限に抑えられ、23年度に続いて搭乗者数10万人の大台を確保することができたものと考えております。本年は開港15周年となる節目の年であることから、欠航時アクセスバス・タクシー事業や旅行商品拡充促進事業などの助成事業を継続し、観光とビジネス両方での利用者増に努めるほか、新たな取り組みとして空港企業ファンクラブを立ち上げ、企業利用における人と貨物の取り込みを図ってまいりたいと考えております。機材も大型化され大館能代空港を利用した圏域のビジネスや観光の可能性が広がっており、今後とも県や関係機関との連携を深めて空港利用促進対策事業を推進してまいりますので、御協力をお願い申し上げます。

16、市営新町住宅他建替え事業の進捗状況について。

市営新町・中町・向町の3住宅については、平成24年3月に市営新町住宅他建替え事業実施方針を策定し、PFI方式により効率的かつ効果的な建設と長期の維持管理を目指して事業を進めているところであります。公募の結果、本事業には12社で構成する大館都市開発グループ1者が応募し、審査を経て25年3月19日に事業者として選定されました。4月30日には選定事業者と基本協定を締結し、5月10日に選定事業者が設立した特別目的会社「株式会社大館住宅開発」と仮契約を締結したところであります。今後は関係する町内の皆様の御理解・御協力を得ながら住宅の解体・設計・建設等を進め、27年3月には向町住宅を、28年3月には新町・中町住宅を完成させる予定であります。本定例会に本事業の契約締結についてお諮りしておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

17、下川沿公民館の改築事業について。

下川沿公民館の改築につきましては、昨年からは地元改築促進協議会と基本構想等について協議を重ね、現在地での改築を基本として25年度の実施設計、26年度の工事完成を目指すことで合意をいただいたところであります。市では県の木造公共施設等整備事業を活用しながら2カ年事業で進めてまいりたいと考えております。本定例会に実施設計委託費や建築工事費などの

関係予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

18、国民文化祭の取り組み状況について。

来年10月4日から1カ月間開催される「第29回国民文化祭・あきた2014」では、本市での開催事業としてマーチング、ゴスペル、ゼロダテのほか、県の主催事業である食文化フォーラムの4つが実施される予定であります。本年度は本番に先立つプレ事業として10月5日からゼロダテ美術展が開催されるほか、10月12日には東北各地の団体の出演により「ゴスペル音楽祭 in 大館」も開催され、翌13日のきりたんぽまつりの会場でも演奏することとしております。また、11月10日にはマーチングバンド・バトントワーリングの祭典が開催され、各団体による華麗な演奏・演技が披露されることとなっております。今後は国民文化祭の成功に向けて準備を進めるとともに、PR活動についても努めてまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

19、第61回山田記念ロードレース大会について。

昭和28年の第1回大会から61回目となる山田記念ロードレース大会は、4月29日に長根山陸上競技場を発着点とした市街地コースで開催されました。当日は、前回まで毎回参加いただいていた山田敬蔵氏があいにくの欠場となりましたが、世界陸上女子マラソン優勝者である浅利純子氏をお招きし、岡山県や高知県からの参加者を含む1,565人が参加いたしました。また、初めての試みとして、大会前日には県外からの参加者を対象とし本市の観光をPRするため、歓迎レセプションを開催したところであり、今秋の秋田DCに向けて大いにアピールできたものと思っております。沿道で応援していただいた皆様や市内高校陸上部のボランティアなど多くの方々に支えられ、大会を無事終了できましたことに心から感謝申し上げます

続きまして、提出いたしました議案等につきまして主な内容を御説明申し上げます。

報第3号は、平成24年度大館市一般会計継続費繰越計算書であります。

これは、24年12月定例会で継続費の御承認をいただいた総務費の3R推進プラザ整備事業1億72万8,000円について、翌年度逡次繰越額として本年度に繰り越したものであります。

報第4号は、平成24年度大館市一般会計繰越明許費繰越計算書であります。

主な内容としましては、民生費の保育所緊急整備事業が1億1,460万2,000円、農林水産業費のえだまめ大規模モデル産地育成事業が2億9,955万円、農業水利施設保全合理化事業が1億600万円、土木費の道路橋梁改良事業が5,700万円、教育費の小・中学校施設改良事業が2億8,052万5,000円などであります。これらの事業は、国の24年度補正予算に対応して翌年度への繰り越しを御承認いただいたものなどであり、合わせて20件について総額11億8,273万8,000円を本年度に繰り越したものであります。

報第5号は、平成24年度大館市一般会計事故繰越し繰越計算書であります。

これは、総務費の城西町内会館脇法面補修工事について、豪雪の影響で湧水処理に不測の日数を要し年度内の完成が見込めなくなったことから、159万6,000円を本年度に繰り越したもの

であります。

報第6号は、平成24年度大館市都市計画事業特別会計繰越明許費繰越計算書であります。

これは、御成町南地区土地区画整理事業について、建物所有者との補償交渉に不測の日数を要したことから、移転補償費5,632万5,000円を本年度に繰り越したものであります。

報第7号は、平成24年度大館市水道事業会計予算繰越計算書であります。

これは、下水道工事に伴う配水管布設替事業について、公共下水道事業における工事の一部が年度内に終了できず、工事請負費950万円を本年度に繰り越したものであります。

報第8号は、平成24年度大館市下水道事業会計予算繰越計算書であります。

まず、公共下水道事業につきましては事業の追加により年度内に終了できず、工事請負費等1億2,570万円を本年度に繰り越したものであります。また、米代川流域下水道事業建設負担金2件につきましては、県の流域下水道事業における工事の一部が年度内に終了できず、市の負担金合わせて350万円を本年度に繰り越したものであります。

報第9号は、大館市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出についてであります。

平成24年度は、釈迦内工業団地の開発行為事前協議書類等の作成業務を受託したことにより、当期利益は12万287円となっております。

報第10号は、一般財団法人大館市文教振興事業団の経営状況を説明する書類の提出についてであります。

初めに、平成24年度の事業報告であります。樹海ドームの利用者数は25万8,521人で、本場大館きりたんぼまつりの来場者数が2日間で8万6,000人あったことなどから前年度実績を6万139人上回り、また、市民文化会館の利用者数は8万2,921人で、集客面で小規模の事業が多かったことなどから前年度実績を1万3,010人下回っております。次に、決算の概要であります。決算額は、収益が2億315万1,516円、費用が2億135万6,432円で、当期一般正味財産増減額は179万5,084円の増となっております。

報第11号は、株式会社県北環境保全センターの経営状況を説明する書類の提出についてであります。

初めに、平成24年度の事業内容であります。秋田県の米代川流域下水道及び十和田湖公共下水道の処理施設に係る指定管理業務、本市山館浄水場の運転管理業務、鹿角市の水道及び公共下水道施設管理業務等を受託しております。次に、決算の概要であります。決算額は、収入が3億1,073万5,491円、費用が3億762万5,140円となり、税引き後の当期純利益は199万7,823円となっております。

報第12号は、株式会社田代ふるさと振興公社の経営状況を説明する書類の提出についてであります。

初めに、平成24年度の事業報告であります。たしろ温泉ユップラの入浴者数は11万444人で前年度を7,459人下回り、宿泊・日帰り宴会利用者数についても1万3,157人で前年度を609

人下回りました。次に、決算の概要であります。売上総利益7,187万5,640円に対し販売費及び一般管理費は8,307万1,017円となり、営業外収支を差し引きした税引き後の損益では1,128万8,921円の当期純損失となっております。

報第13号は、放棄した債権の報告についてであります。

これは、大館市債権の管理に関する条例第6条第1項の規定に基づき、平成24年度に権利を放棄した市の債権につきまして、同条第2項の規定により御報告申し上げるものであります。内容としましては、破産による免責、債務者の著しい生活困窮、債務者不存在等の理由により高齢者住宅整備資金貸付金3件、水道料金1,079件、合わせて1,082件268万9,011円につきまして、債権を放棄し不納欠損処分を行ったものであります。

議案第71号は、議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、平成25年1月28日付総務大臣通知を踏まえた職員の給与改定の状況を勘案し、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間に支給される議会の議員の議員報酬等を減額しようとするとともに、一部条文の整備をしようとするものであります。

議案第72号は、国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案であります。

これは、国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行により、国有林野事業が国営企業の形態でなくなったことに伴い、大館市情報公開条例、大館都市計画下水道事業受益者負担に関する条例、及び大館市公共下水道事業分担金徴収条例の3条例について所要の措置を講じようとするものであります。

議案第73号は、市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、議案第71号と同様に、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間に支給される市長及び副市長の給料月額及び期末手当を減額しようとするものであります。

議案第74号は、大館市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、平成25年1月28日付総務大臣通知に鑑み、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間に支給される職員の給料月額並びに期末手当及び勤勉手当を減額しようとするものであります。また、これとあわせまして、大館市職員の育児休業等に関する条例、職員の勤務時間、休暇等に関する条例、外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例、公益的法人等への職員の派遣等に関する条例、大館市職員の修学部分休業に関する条例及び大館市職員の高齢者部分休業に関する条例について、所要の改正を行うものであります。

議案第75号は、大館市児童発達支援センターに関する条例案であります。

これは、障害者制度に係る整備法の制定により児童福祉法の一部が改正され、児童デイサービスが児童発達支援に移行されるとともに、通所による支援を行う児童福祉施設が児童発達支

援センターとされたことから、大館市心身障害児通園施設を廃止し、新たに大館市児童発達支援センターを設置しようとするものであります。

議案第76号は、教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、議案第71号及び議案第73号と同様に、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間に支給される教育長の給料月額並びに期末手当及び勤勉手当を減額しようとするものであります。

議案第77号は、大館市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、板子石・南が丘・たつみ町等の一部を公共下水道の計画処理区域に加えるなど、事業計画を変更するため所要の措置を講ずるものであります。

議案第78号は、大館市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、議案第71号、議案第73号及び議案第76号と同様に、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間に支給される病院事業管理者の給料月額並びに期末手当及び地域手当を減額しようとするものであります。

議案第79号は、財産の取得についてであります。

これは、パソコンの基本ソフトであるWindows XPに対するサポートが平成26年4月8日をもって終了することから、セキュリティを確保するため同ソフトを使用している情報系パソコン378台を新たに購入しようとするもので、去る5月13日に公募型指名競争入札を執行した結果、東光コンピュータ・サービス株式会社が2,331万円で落札したものであります。この物品の購入については、予定価格が2,000万円以上であることから地方自治法及び本市関係条例の規定により、議会の議決をお願いするものであります。

議案第80号は、旧慣使用権の廃止についてであります。

これは、個人の住宅用地として土地を処分するため、根下戸部落が旧慣使用権を有する土地の旧慣使用権を廃止しようとするものであります。

議案第81号は、市営新町住宅他建替え事業の特定事業契約の締結についてであります。

これは、市営新町住宅他建替え事業について事業者選定委員会による特定事業の審査や提案書のヒアリングを経て、去る3月19日に総合評価一般競争入札を執行した結果、株式会社大館住宅開発が17億3,336万500円で落札したものであります。この特定事業契約の締結については予定価格が1億5,000万円以上であることから、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律の規定により、議会の議決をお願いするものであります。

議案第82号は、平成25年度大館市一般会計補正予算（第2号）案であります。

今回の補正額は、総務大臣通知を踏まえた職員の給与改定に伴うものを中心となっており、2億66万5,000円の追加で補正後の予算総額は322億9,017万円となる見込みであります。最初

に、歳出の補正の主な内容について申し上げますと、総務費に財政調整基金積立金を追加、衛生費に弘前大学地域医療推進学講座設置事業費寄附金を計上、農林水産業費に釈迦内工業団地整備事業費を追加、商工費に大館市プレミアム商品券発行事業費補助金を計上、教育費に下川沿公民館改築事業費を追加しております。次に、歳入の補正の主な内容を申し上げますと、国庫支出金に国民文化祭に係る文化芸術創造発信イニシアチブ事業費補助金を追加、県支出金に下川沿公民館改築事業に係る公共施設等整備事業費補助金などを追加しております。

また、第2条第2表に市道二中長面袋線橋梁新設事業の継続費の設定を、第3条第3表に下川沿公民館改築事業の繰越明許費の設定を、第4条第4表には債務負担行為の補正、第5条第5表には地方債の補正について、御提案申し上げます。

議案第83号は、職員の給与改定に伴う平成25年度大館市介護保険特別会計補正予算（第1号）案、**議案第84号**は、職員の給与改定に伴う平成25年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第1号）案であり、いずれも一般会計繰入金等の財源補正をあわせて行うものであります。

議案第85号は、平成25年度大館市財産区特別会計補正予算（第1号）案であります。

今回の補正は、片山・川口・餅田及び立花の4財産区勘定合わせて268万5,000円の追加で、補正後の予算総額は2,097万9,000円となる見込みであります。

議案第86号から議案第89号までの4件は、4月の人事異動及び総務大臣通知を踏まえた職員の給与改正等に伴う公営企業会計の補正予算案であります。

議案第86号は、平成25年度大館市水道事業会計補正予算（第1号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正で職員給与費を366万6,000円減額し、補正後の総額は12億7,690万7,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。これも支出のみの補正で職員給与費を90万7,000円減額し、補正後の総額は10億8,954万2,000円となる見込みであります。この結果、5億6,354万5,000円の資金不足となりますが、これを減債積立金及び損益勘定留保資金で補填しようとするものであります。

また、第4条に経費の流用に関する事項の変更をお願いしております。

議案第87号は、平成25年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第1号）案であります。

収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正で職員給与費を16万4,000円減額し、補正後の総額は4,631万8,000円となる見込みであります。

また、第3条に経費の流用に関する事項の変更をお願いしております。

議案第88号は、平成25年度大館市下水道事業会計補正予算（第1号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正で職員給与費を242万6,000円追加し、補正後の総額は13億6,453万3,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では企業債に190万円を追加し、補正後の総額は12億9,012万7,000円となる見込みであります。支出では職員給与費を309万2,000円減額し、補正後の総額

は18億1,892万円となる見込みであります。

このほか、第4条に企業債、第5条に経費の流用に関する事項について、それぞれ変更をお願いしております。

議案第89号は、平成25年度大館市病院事業会計補正予算（第1号）案であります。

収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正で補正額は2億2,368万円の減額で、補正後の予算総額は108億3,218万5,000円となる見込みであります。

このほか、第3条に経費の流用に関する事項の変更をお願いしております。

議案の概要につきましては、以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。（降壇）

○議長（中村弘美君） これより、ただいまの上程議案等に対する質疑に入ります。
御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村弘美君） なしと認め、質疑を終結いたします。

○議長（中村弘美君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、6月10日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前11時00分 散 会
